

製品名: コラーゲン II ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87386**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:142 kDa; Observed MW:30 kDa (Isoform 3) kDa

抗原情報

遺伝子名	Collagen II
別名	AOM; ANFH; SEDC; STL1; COL11A3
遺伝子 ID	1280
SwissProt ID	P02458
免疫原	ヒトコラーゲン II の合成ペプチド

背景

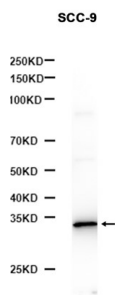
この遺伝子は、軟骨および眼の硝子体に含まれる線維状コラーゲンである II 型コラーゲンの $\alpha 1$ 鎖をコードしています。この遺伝子の

変異は、軟骨無形成症、軟骨異形成症、早期発症型家族性変形性関節症、先天性 SED、ランガー・サルディーノ軟骨無形成症、クニースト骨異形成症、スティックラー症候群 I 型、およびストラドウィック型脊椎骨端骨端異形成症と関連しています。さらに、このコラーゲン分子の C プロペプチドであるカルシウム結合タンパク質であるコンドロカルシンのプロセッシングにおける欠陥も、軟骨異形成症と関連しています。この遺伝子には 2 つの転写産物が同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



コラーゲン II ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した SCC-9 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。